

Rotary



WEEKLY REPORT

東京池袋西ロータリークラブ The Rotary Club of Tokyo Ikebukuro West

2024-25年度 RIテーマ 「ロータリーのマジック」 第2580地区ターゲット「隔たりを取り除きご縁を大切に」
クラブテーマ「充実したロータリーライフの実現」



RI会長/ステファニー・アーチック 第2580地区ガバナー/石川彌八郎
国際ロータリー第2580地区
東京池袋西ロータリークラブ 創立1972年4月10日(承認1972年5月12日)
例会/毎週月曜日 12:30~13:30 ホテルメトロポリタン
会長/安達政弘 副会長/前田康行(会長エレクト) 幹事/須藤和由
会報委員長/福田裕昭 URL: <https://www.ike-nishi-rc.jp/>
事務局/豊島区池袋2-18-2-201



第2315回例会号 2025年3月10日発行

本日の例会/第2315回例会 (3. 10)

司会: 金子 SAA

ロータリーソング: それでこそロータリー

ソングリーダー: 中里隆重会員

本日のプログラム

◇「PETS 報告会」

前田会長エレクト

次回の例会/第2316回 (3. 31)

◇「卓話」

※3/17. 24は休会です

前回の例会/第2314回 (3. 3)

◇卓話

「うちの社に限って~ハラスメント対策」

Clearie

チーフコミュニケーションオフィサー

八幡美紀様 (白石会員ご紹介)

会長幹事報告

1. 次回の例会は3月10日(月)、

通常の12:30点鐘です。お間違いのないようお願いいたします。(3/17. 24は休会です)

※もしロンドンからのご夫妻が来られた場合はご紹介(別紙参照)

※鴻上さんゲストも鴻上さんより簡単にご紹介

※卓話者は卓話の前に白石さんからご紹介

※本日、例会終了後に「理事・役員会」を開催致します。

関係各位は宜しくお願い致します。

ゲスト・ビジター (6名)

- ①卓話者 Clearie チーフコミュニケーションオフィサー 八幡美紀 様
- ②株式会社フローリー 代表取締役 大須賀清隆(おおすがきよたか) 様
- ③ローターアクト 加藤光くん
- ④米山奨学生 リュウシインさん
- ⑤ローターアクト・ロンドンクラブ(23-24会長) 野村奈也乃(のむらなやの) 様
- ⑥ローターアクト ロブ・シソン 様(野村様ご主人)

出席報告 (3. 3)

会員数25名 出席11名 欠席14名

出席率に用いた会員数 21名 出席率52. 38%

2/17(月)修正出席率 85・71%

<ニコニコボックス>

- ◇安達会長: 今年も早くも3月になりました。
- ◇伊藤会員: まだまだ寒い日が続きますのでがんばりましょう。
- ◇金子会員: お祝いをありがとうございます。結婚して20年になります。これからも家族を大切にしていきたいと思います。
- ◇無木会員: 3月5日で78歳になります。80歳までがんばります。

◇3月お誕生日おめでとうございます！

蕪木会員

◇結婚祝いおめでとうございます！

今田会員・須藤幹事・金子会員・川井田会員

◇ご夫人誕生祝いおめでとうございます！

西部会員・中井会員

【3月「理事・役員会」報告】

日時／2025年3月3日(月)13:30～場所／メトロポリタン

出席者／安達、富重、前田、中里、金子、白石
(順不同、敬称略)

<議 題>

◆報告事項

◆審議事項

◆協議事項

<次回(4月)「理事・役員会」予定日>

日時／2025年4月14日(月)13:30～場所／メトロポリタン

◇卓話

Clearie チーフコミュニケーションオフィサー

八幡美紀様(白石会員ご紹介)

貴重なお話しありがとうございました！

◇米山奨学生 劉紫昀さん

2年間おつかれさまでした！ありがとうございました

「ロータリー米山奨学生として学んだことと これからの夢」

私は米山奨学生の劉紫昀です。2023年4月から2024年3月までの二年間、ロータリー米山記念奨学会に大変お世話になりました。まずは心より感謝の気持ちを申し上げます。

本日は、「ロータリー米山奨学生として学んだこととこれからの夢」についてお話しさせていただきます。

まず初めに、この二年間でロータリー米山奨学生として学んだことは二つあります。

一つ目は「社会奉仕の心」です。毎月の例会やロータリーおよび学友会の活動を通じて、社会奉仕の精神を深く学ぶことができました。特に印象に残ったのは、柿田川合同奉仕活動です。この活動では、地域の自然環境を守るために外来種の駆除や清掃活動を行いました。皆様の熱心な社会奉仕の姿勢に感動しました。その後、ガバナーさんとお話しする機会があり、髪を寄付して癌に罹る子供に「ヘアドネーション」をする予定があることを知り、とても感動しました。さらに、さまざまな国籍や年齢の方々と交流し、社会貢献の重要性を改めて実感しました。

二つ目は「文化交流の大切さ」です。私はクラブの新年例会と40周年学友会総会で、中国の伝統楽器「古箏」を演奏する機会をいただきました。幼少期から学んできた古箏を、ロータリーのイベントで再び演奏できたことは大変嬉しく、音楽を通じて異なる国籍、文化、バックグラウンドのバリアを超えて交流できたことに感動しました。この経験を通じて、文化交流の重要性を深く理解しました。

次に、私の将来の夢についてお話しさせていただきます。私の夢は「人を救える薬を創る」ことです。この夢は中学生の頃から変わることなく、ずっと持ち続けています。中学生の時、心臓病で倒れた父がアスピリンという薬によって命を救われ、その不思議さに感動しました。その瞬間から、将来は命を救う薬を創りたいと強く思うようになりました。この夢を実現するため、10年前に医業技術が優れる日本への留学を決意し、創薬研究者を目指してきました。しかし、夢を叶える道は決して簡単ではありませんでした。特に博士課程の最後の二年間はほぼ週末も休まずに努力を重ねました。しかし、ロータリー米山奨学会のご支援と多様な活動のおかげで、薬学博士号を取得することができました。

これからは、特に癌に苦しむ患者さんを支援することを目指しています。4月からは製薬会社に入社する予定です。会社名である「アステラス」の理念にもあるように、明日を照らす創薬研究者として、今まで学んだ製薬の知識を深め、癌に関する研究を続けて患者さんやそのご家族に希望を与えられるよう努めていきます。

ロータリー米山奨学金で得た経験は私にとって非常に貴重なものであり、これからの人生において大きな財産となります。この経験を生かし、将来的には発展途上国の患者さんを支援するグローバルベンチャー企業を立ち上げ、社会に貢献したいと考えています。

最後に、改めて、ロータリー米山奨学会の皆様には感謝の気持ちを申し上げます。

大変ありがとうございました。ご清聴、ありがとうございました。

